

那覇西ロータリークラブ

国際ローター 2580 地区 創立 1962 年 6 月 4 日

2019年6月19日
週報 第2568号



インスピレーションになるう

四つのテスト

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を
深めるか
- 4、みんなの為に
なるかどうか

プログラム案内

本日のプログラム

6月19日(水)

- ・点鐘
 - ・ロータリーソング
 - 我等の生業
 - ・会長報告
 - ・幹事報告
 - ・会員卓話 橋本孝彦 会員
 - ・次回予定
- 6月26日
- ・立食

例会報告

第2683回(2019年6月12日)

出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回 訂正出席率
61名	33名	26名	56%	70%

欠席会員

崎原、石川、高田、宮里、上原、大城(博)、儀部、
宮内、福重、比嘉(広)、久保、立津、城間(久)
三浦、當真、丸橋、照屋(紀)、平尾、宮城、橋本
大田、眞榮城、古荘、内山、石垣、人見会員
メイクアップ会員

比嘉広明(6/11分区連絡会)

大庭 憲() 豊村良春()

比嘉広明(6/13那覇東) 宮内一郎()

ニコニコBOX

合計 ¥4,000 累計 ¥436,000

渡慶次 馨 令和元年ナンミン祭無事盛大裡にご奉仕
できました。

ご協賛誠に有難うございました。

大城純市 ロータリー国際大会INハンブルクに
参加して参りました。

とても有意義で楽しい旅行でした。

後日詳しい報告を致します。

会 長 具志堅 一真 副会長：比嘉広明 當間良明
幹 事：比嘉芳直

例会日 毎週水曜日 12時30分

例会場ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー

事務局 那覇市松山1-1-14 那覇共同ビル6階

TEL: 861-7824 FAX: 861-7825



会長報告

皆さんこんにちは。先程のロータリーソングの今日の歌唱は「富士山」でした。私は富士山に2度登りました。体重が95kgの初回は登頂失敗に終わりました。準備がいかに大切か山登りの基本は「靴」、正式な登山靴でなければなりません。それと知らない荷物は持って行かない事。知らない荷物、それは私の体重でした。6kg減量し2回目は無事登頂に成功しました。富士山は登るものではなく観るものだと初めてわかりました。明日はコザRCにおいてタイ国からの来日学生シタナンさんの帰国前報告会に参加してきます。来週その報告をしたいと思います。ロータリーの友4月号の「内外よろず案内」に『水曜日、羽田空港を利用される皆様へ』という一文を紹介します。「東京羽田RCは1959年にアジア初のロータリー国際大会が開催されることが決まった時世界中から来日する参加者を日本の表玄関羽田空港で迎えようと創られたクラブです。創立以来60年例会を羽田空港内で開催しています。現在毎日24万人が羽田空港を利用しています。その中には出張・旅行のロータリアンもたくさんいらっしゃると思います。そこでご提案。私たちの例会のある水曜日に羽田空港ご利用の際には東京羽田RCの例会にお立ち寄りになりませんか。」とあります。例会場所は羽田空港第一旅客ターミナル6Fギャラクシーホール通常例会は毎週水曜日12:30~13:30最終例会は夜間例会で18:00~19:00とあります。私は、7月3日(水)は東京出張の予定です。この機会に是非参加したいと思っております。

幹事報告

各RC例会変更のお知らせ

- ・那覇ロータリークラブ

日時：2019年6月25日（火）18：30

場所：パシフィックホテル沖縄2階「カネオヘ」

ビジター費：5,000円

・那覇東ロータリークラブ

日時：2019年6月27日（木）18：30

場所：レッドロブスター沖縄国際通り店

（那覇市安里2-1-1カーゴ那覇1階）

ビジター費：5,000円

・那覇北ロータリークラブ

日時：2019年6月27日（木）19：00

場所：沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ

ビジター費：5,000円

・浦添ロータリークラブ

日時：2019年6月28日（金）18：30

会場：ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城20F

ビジター費：6,500円

各委員会報告

・大城会員（ドイツ国際大会参加）

当クラブから私の家族3名、豊村夫妻、新里（順一）夫妻で参加いたしました。ハンブルク到着からオランダ、ベルリン、ポーランド、ワルシャワ、ミュンヘン1週間の強行スケジュールでした。世界大会で世界のロータリアンとの交流も素晴らしいものでした。詳細の報告会は後日予定したいと思います。

・新垣裕道会員

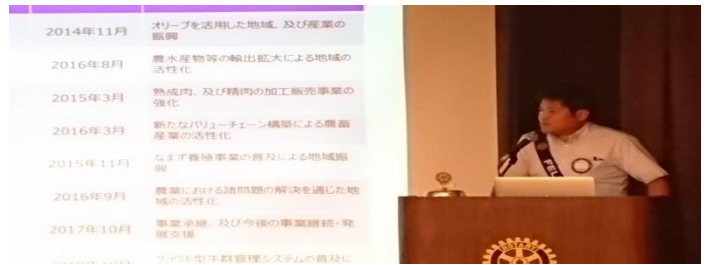
当クラブの松島寛行会員が（一般）沖縄県電気管工事業協会の会長に就任いたしました。就任祝いを6/26(水)かりゆしアーバンリゾートホテルにて行います。案内を回覧しますのでご参加よろしくお願いたします。

・糸洲会員（米山奨学委員長）

米山奨学財団からの報告です。本日、照屋義実会員よりご寄付を頂きました。今年度に頂いた全ての会員様のご寄付についても次回報告いたします。

卓話（地域金融アグリビジネス）白井淳司会員

昨年秋に入会し今回卓話の機会を頂きました。内容として初めに改めて自己紹介、次に鹿児島銀行の特徴、地域金融機関が置かれている状況。そして、それらを踏まえて最終的に鹿児島銀行が取り組んでいるアグリビジネス、農業金融についてお話させていただきます。1972年11月鹿児島で生まれ。途中父親の仕事の都合でマレーシアのクアラルンプールへ行っていた時期もあるのですが、その後も鹿児島大学、鹿児島銀行とずっと鹿児島で過ごすこととなります。鹿児島銀行入行後も各営業所等を勤務いたします。ここ数年では、宮崎支店に3年半、そして3年前に沖縄に赴任いたしました。宮崎支店の折もそうですが、いつも鹿児島銀行の出先を市場開拓するマーケットに投下される任務を担っております。沖縄でも新規開拓ばかりやっていますが最初は高い壁等もありましたが、今は、沖縄で仕事をする事は凄く面白くて楽しく仕事をさせてもらっています。鹿児島銀行は平成27年9月末に沖縄に進出。翌平成28年8月に赴任いたしました。沖縄支店が新都心の一つしかない頃でした。そこに次長として赴任して昨年7月久茂地に沖縄支店を移し新都心の店舗を新都心支店として構え支店長を拝命しております。鹿児島銀行で一番新しい支店として注目されている所です。行員にも人気の高い沖縄店舗となっております。3年前の11人の体制から業容拡大に



より2店舗併せて67名の行員がおります。店舗が少ないものですからフットワークでフル活動しております。実は、平成27年9月に沖縄出店とお話しましたが、歴史を紐解くと鹿児島銀行が沖縄に出店したのは1883年が最初となります。136年前に鹿児島銀行は出店しております。その前身の第百四十七国立銀行時代に沖縄に進出し、ちょうど今、140周年となります。鹿児島に1店舗しかない時代に沖縄には早々と支店を出し更に大正10年には国頭、宮古、八重山、大正年間には4店舗も沖縄には支店があったようです。先の大戦中も営業を継続しており当時の支店長代理に高橋さんという方は、防空壕の中でも営業日誌を付けており陣中日誌は貴重な資料として鹿児島銀行に残っております。それによると終戦の年5月に営業は終わり8月15日に閉店するのですが戦死者もあるなか高橋代理が資料を持ち帰り当時の記録を残したという事です。（その話は別の機会に譲りたいと思います）今、地域金融機関は非常に厳しい状況にあります。人口減少、マイナス金利、新聞報道にあるように10年後は6割の地方銀行が赤字になる予想がされてます。昨年金融庁が出した資料の予測によると将来的には各県毎に1行単独でも生き残ってゆけない県が全国で23県あるという事です。宮崎県では1行単独では採算が取れないだろうと鹿児島県でも2行は競争で生き残っていける。沖縄県は1行なら生き残るという事ですが、私の感覚では鹿児島県が1行で沖縄は競争環境があったとしてもまだやっているとではないかと言うのが私の肌で感じた正直な実感です。このような非常に厳しい状況の中で銀行自体もこのままでは生き残っていけないと言う危機感があります。銀行の再編も加速しております。鹿児島銀行も再編ではないのですがお隣の熊本県肥後銀行と経営統合で規模を大きくし経営を守った上で地域を守るという一面と地域産業を自らが創出し発展させていく事を銀行が主体的にやっていると地域が伸びていかない。地域が衰退していく。地方銀行は地域を発展させていかないと自分達も生き残れないという危機感で色々な取り組みをしています。そこで、アグリビジネスですが鹿児島銀行が鹿児島という地域の産業発展のためにどのような取り組みをしてきたのかというのが、アグリクラスター構想です。地域特性を活かした取組みとして基幹産業である農業（川上）・食品加工業（川中）を中心とし川下である流通、更に関連産業まで含めた商流に係る産業群（アグリクラスター）の活性化、拡大を支援する取り組みです。



※鹿児島銀行が主体的に行った事例等を紹介し白井会員が経験した畜産農家融資による畜牛担保物件の保全の問題等大変興味深いお話を聴かせていただきました。